

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護付有料老人ホーム ラフィーネ	階数	地上7F
建設地	北九州市小倉南区上葛原二丁目22	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし、法22条区域	平均居住人員	65人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 0.0	評価の実施日	2014年7月1日
敷地面積	2,062 m <sup>2</sup>	作成者	楠山設計(株)西田直美
建築面積	807 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月1日
延床面積	4,054 m <sup>2</sup>	確認者	楠山設計(株)西田直美



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	85%
③ 上記+②以外の	85%
④ 上記+	85%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.5
空気質環境	4.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.3
耐用性	2.9
対応性	2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.6
地域環境	2.5
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 地域に密着した施設づくりを目指しました。道路沿いには植栽による生垣を配置し、周辺環境への配慮、共生を図りました。また、建物は外壁周りにバルコニーを配置し、室内への熱負荷の低減、周辺建物への光反射の低減を工夫しました。また、屋上の一部に緑化庭園を設けることで、熱負荷の低減を図るよう努めました。		<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 各居室は、大きな開口部を設けること、自然採光を取り入れ、室内環境を明るく快適に保つ計画としました。また、共用部分にもできるだけ大きな開口部を配置し、日中の照明器具を利用せずに採光をとるように計画しました。	<b>Q2 サービス性能</b> 各居室の床面積を十分に計画し、個人の生活を充実したものとできるように配慮しました。また、各居室にトイレ・洗面を設け、プライバシーの確保・自立した生活を長く維持できるように配慮しました。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内には、高木を南面・西面に配置、直射日光を遮り、敷地内に木陰ができるよう工夫しました。また、道路沿いに植栽による生垣を配置し、周辺環境へ配慮しました。四季折々の花々を楽しめるよう、植栽計画を工夫しました。
<b>LR1 エネルギー</b> 特に配慮していない。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特に配慮はしていないが、施工段階でのリサイクル資材検討を図りたいと考えます。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特に配慮していないが、今後、地球環境問題として重要視していきたいと考えます。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される